## JVCシニアクラフ:便り 2014年 1 月号 (No.26-2)

発 行: JVC シニアクラブ 会 長: 菅沼 喜久次



## ■「ご挨拶」 会長: 菅沼 喜久次

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、良き新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。 結成以来、満11年の活動実績については、会員各位からの深いご理解とご協力の賜物として、感謝し厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみると、第二次安倍内閣の政策の下に、大規模な金融緩和によるデフレ経済からの脱却、円安誘導による輸出の増大、株価の上昇等による景気の回復傾向が見られました。2020年東京オリンピック・パラリンピック招致にも成功し、国内の景気浮揚への効果も期待されました。しかし、個人消費や設備投資の伸びがいまひとつ不十分であり、本年4月からの消費税の増税を控え、本格的な景気回復への腰折れも懸念されています。

2014年度税制改正の政府案が決定され、それに伴う新年度予算案が1月24日召集予定の第186回通常国会にて審議されることになります。

「企業に優しく・家計に厳しい」といわれる政府案は、特に私たち高齢者にとって最も重要な、社会保障制度に対する「負担増と給付の減少」という、厳しい内容が含まれています。

現在の国会勢力を眺めると、民主党を中心とする野党勢は、再編統合への動きがあるもの の、その展望はまだまだ困難な情勢といわざるを得ません。

自公の絶対多数与党の独断的な政策遂行に一定の歯止めを掛け、国民の安全・福祉向上に向けた政策を推進させるべくシニア世代も力を合せた取り組みと行動が求められます。

私たちは全国の仲間である「日本高齢・退職者団体連合」に、JAMシニアクラブを通じて結集し、通常国会における審議状況等に応じて「社会保障制度改革要求実現集会」等を中心とした、国会請願行動への動員要請には積極的に対応して行かねばなりません。

JVCシニアクラブの母体組織「日本ビクター労働組合」は、ケンウッドの労働組合とともに昨年10月1日「JVCケンウッド労働組合」として新しく発足しました。

当シニアクラブでは、新組織との連携を密にしつつ、日常活動に留意してまいります。

会員各位に於かれましては、健康に充分留意され、ご家族共々のお幸せをお祈りいたしま す。どうか本年も従来にも増して、ご理解とご協力を切にお願いいたします。

## ■トピックス:世界遺産登録となった富士山

昨年6月、富士山は、"信仰の対象と芸術の源泉"として世界文化遺産に登録されました。 巻頭の富士山の写真は、千円札裏面の絵と同じアングルで本栖湖で撮影したものです。

富士山の北に位置する八ヶ岳に関する昔話によると、かつて、八ヶ岳と富士山が背丈比べをしたが、富士山が負けて、"悔しさのあまり八ヶ岳の頭を蹴って砕いてしまった"とのこと。

八ヶ岳の裾野の大きさからすると、この説も満更嘘ではないような気にもなりますが、勿論これは富士山に敵わぬ八ヶ岳側の立場での作り話でしょう。

一方で、東京都小笠原西之島近くで新島が誕生しました。火山噴火活動が続き、西之島と陸続きになって、スヌーピーの形に似ているとネットで噂が広まりました。(写真引用:http://image.search.yahoo.co.jp/)

島の標高は30mにも満たないようですが、周辺の海は3000m以上の深 さがあり、海底から見ると巨大な山塊となっているはずです。

さらに、小笠原周辺では、最大体積を誇る北硫黄島が3,338立方kmで、富士山の548 立方kmと比較して、その山容ははるかに巨大なものといえるでしょう。しかし、海の底からこ の山を眺めることも出来ず、拝む人もいません。

富士山は日本最高峰として、そして独立峰で秀麗な形をした山として崇められてきました。 昔から、詩歌の題材となり、絵画の対象ともなった富士山は、現在でも登山者をはじめ、遠くから眺める人も含めて、多くの人達を魅了する山となっています。

霊験あらたかな山容は、富士宮にある「富士山本宮浅間大社」をはじめとして、各地の富士山信仰の対象となっています。特にこの正月は例年よりも多くの参拝客で賑ったようでした。

最初は、世界自然遺産としての登録を目指していましたが、ごみ問題など、人的な不都合から見送られてきました。文化遺産としての富士山ですが、信仰や芸術といった人の心のよりどころや発露のみならず、行動面においても充分に気をつけて、大切に守っていくことが求められます。

## ■事務局から

(1) 2月4日(火)に「警視庁本部見学と新春懇親会」を開催します。昨年末にご案内をしたところ、皆様からの反応が早く、一週間ほどで定員40名に達してしまいました。

後から申込みをしていただいた方には申し訳ありません。キャンセル待ちの形でお待ちいただくことになりました。

今後、本部企画として、昨年に続き「ジャズを学ぼうPart2」を7月6日に予定しています。 詳細が決まり次第ご案内いたします。参加受付けはその後となりますのでご了承ください。 支部主催の行事も、それぞれに企画が決まり次第ご案内いたしますので、ご期待ください。

(2) 昨年の世相を表す漢字は (\*\*) でした。新年を迎え、JAM地方組織の新春懇談会や、 賀詞交換会など各地で開催されます。 JVCシニアクラブ各支部の活動の中で、そのような 上部組織の行事にも、各会員の積極的な参加をお願いいたします。

そのような場を通して、JVCの仲間だけではなく、広く仲間の輪を広げていきましょう。

事務局長 田代 周